

## 乗合タクシー車両に関する仕様案

本改造の主旨はできるだけ低価格での改造によって普及を図ることであるため、必要性和改造コストとのバランスの検討が重要である。以下に示した車両仕様は事務局による検討案にすぎず、WGにおいて意見交換が不十分であるため、次年度以降に引き続き、様々な立場の方々による乗降体験等を行うことで、幅広く意見を収集し、それらを反映させた仕様を検討する。

## 1. ベース車両

トヨタハイエースワゴン スーパーロング・ハイルーフ（型式：CBA-TRH224W-LDPNK）  
イメージ図を添付

## 2. 車両仕様 具体的検討のために想定される主な論点

【標準的な内容】

項目	仕様（案）	備考
シートレイアウト	①10人乗り（車いす乗車時は9人） ②下肢に痛みを抱えている障害者や高齢者の方が立ち座りがしやすいように、車内（運転席除く）に横向き座席を設置する。なお車いす乗降時には後側の一部を跳ね上げとすること。また、立ち座りしやすいよう2席ごとに縦手すりを1本配置すること。	
乗降ステップ	①ステップ奥行きは200mm以上とすること。 ②補助ステップと通常ステップの2段を設け、ステップ高さの差を30mm以内とすること。 ③段差を明示するようステップ端部は周囲の部分と色の明度、色相又は彩度の差が大きいものとすること	
乗降口の手すり	①乗降口の左右に高齢者等が両手でつかめる間隔で手すりを設ける。 ②後ろ向きに降りやすくするよう配慮すること。	
後部リフト	①全長1,200mm以上、全幅750mm以上 ②乗降時に車いすの落下を防止する装置の設置または同等の対応をすること。 ③リフト誤作動を防止するための安全装置（サイドブレーキを引いていないとリフト作動しない、リフト昇降時に障害物検知により自動停止など）の設置	リフトを使用しない場合、スロープの勾配は14度以下とする。
運賃箱	助手席乗車希望者もいるため、運転席と助手席におさまるサイズのものを設置	
室内色彩	手すり、注意箇所等は高齢者や視覚障害者にも分かりやすい配色とすること	
コミュニケーション設備	ミニホワイトボードを保管できるスペースを設置	

室内高	スムーズに移動できる室内高さを確保（1500mm目安）	
車いす	車いすのスペースを1つ以上設けること。	

【将来検討】

項目	仕様	備考
シートレイアウト	③乗降ドア直後の座席について、立ち座りしやすいよう縦手すりを1本配置すること。	
乗降ステップ	④ステップ奥行きは300mm以上とすること	
乗降口の手すり	③手すりは、乗降の際につかまりやすいように、車外へ飛び出す機構とする。	
後部リフト	④車内に、車いす固定場所前方に横の手すりを設置 ⑤全幅800mm以上	
降車ボタン等	①降車合図用ブザーを備え、床面1,200mmの高さで旅客の手近な位置に備えること ②車いす利用者の降車合図用のブザーを車いす利用者が利用できる位置に備えること。なお押しボタンは手の不自由な乗客でも使用できるものとする。	配線等の問題もあり要検討
運賃箱	—	
車内表示装置	乗客が次停留所名等を容易に確認できるように、表示装置を車内の見やすい位置に設置	配線・コスト等の問題もあり要検討
車外表示装置	昼間夜間とも視認可能な行き先表示用車外表示装置を車両前面に設置	配線・コスト等の問題もあり要検討
車内放送装置	①視覚障害者等に配慮し、次停留所等の情報を音声で得られるようにする。 ②降車ボタンに反応し、停車することが分かるように音声の流れるようにする。	配線等の問題もあり要検討
室内色彩	—	
コミュニケーション設備	—	
車いす、補装具収納場所	車いすを備えておくスペースを設置（車いす対応の要件）	ニーズがあるか疑問（車いす降りてステップ3段上がるか）
自動ドア	乗客の安全性確保のため、ドアノブにふれると自動的に閉まる機能を解除	
車いす	車いすのスペースを2つ以上設けること。ヘッドレストを設け、固定装置は20Gに耐えられること	